

積 雪

西高東低の前線の流れは、白一色の雪国を創り出して行く。巨大な自然のエネルギーが創り出した日本海の冬である。萬象が沈黙すると言われる。この積雪の下にも、しばし日本の四季の胎動がある。

農産物を供給する周年栽培や冷蔵の技術の進歩から、四季感が失われたとも言われる。春花を賞で、夏を楽しみ、秋に詩情を抱き、冬に団楽する歳事記の季節は失われてはいない。また、積雪下の胎動から始まった四季の植物環にも変わりは見られない。稲の生育も、樹木の年輪も、季節の順応を示している。食生活の一部の素材が周年的に供給されるからと言って四季感が失われるのではなくて、むしろ豊かな素材で四季感を楽しく作る工夫が望ましい。

化学物質の有効利用を否定するような考えが、単に郷愁的な自然保護や、化学の盲目的な懷疑からであってはならない。しかし、環境の破壊を是認するものではなく、そこに新しい生命の循環と自然の誕生を見い出す努力を望まれてはならない。

除草剤の利用も、雑草、作物、環境への作用を、偏見への回答も含めて、厳しく究明されるのが研究者の責任であろう。

水は作物を育てるとともに、除草剤の有効利用のための要素でもある。積雪は巨大な貯水池であり、貯えられた水は豊饒な農産のための糧である。水をどのように活用し制御するかも、また技術者に課せられた古く新しい問題でもあることを、雪の暮らしのなかで探してみたい。

(日本植物調節剤研究協会北陸支部長 木根淵旨光)

目 次

(第9巻第11号)

ハチジョウナの生態と防除法について …	2
＜農事試験場畑作部 中山兼徳＞	
1. はし が き ……………	2
2. ハチジョウナの繁殖……………	2
3. ハチジョウナの防除法……………	4
4. む す び……………	7
昭和50年度水稲・畑作関係生育調節 剤試験成績概要……………	8
＜日本植物調節剤研究協会＞	
昭和50年度水稲作関係除草剤試験成 績概要……………	11
＜日本植物調節剤研究協会＞	
1. 供試除草剤の動向……………	11
2. 試験結果の概要……………	12
第1表 昭和50年度水稲作関係除 草剤実用化判定表……………	14
第2表 昭和50年度水稲作関係実 用化除草剤使用基準……………	16
昭和50年度畑作関係除草剤試験成績 概要……………	35
＜日本植物調節剤研究協会＞	
I. 供試薬剤……………	35
II. 対象作物・薬剤別判定結果……………	35
III. 実用化判定薬剤使用基準……………	37
新登録除草剤一覧……………	39
＜農林省農蚕園芸局植物防疫課＞	
新除草・調節剤	
エースフェノン除草剤……………	44
モリネート・チオクロルメチル除草 剤……………	44
植調協会だより……………	46